



MDP

MATCHDAY PROGRAM

3.16 (土)

Sagantosu



15:00 KICK OFF
vs セレッソ大阪

©2018 CEREZO OSAKA CO., LTD.

誰よりも強く
感謝の思いをもって丸橋祐介は
この一戦に臨む

今季、新たにサガン鳥栖に加わった丸橋祐介にとって今節は“感謝”という言葉強く意識する一戦となる。J1で通算300試合以上に出場するなど長きに渡ってC大阪一筋でプレーしてきた丸橋だったが、いざチームを離れることが決まると不安にさいなまれた。「次のチームが決まらなかつたらどうしよう」。プロとして長年、活躍し続けてきた丸橋にとって初めて経験する無所属の期間。不安が芽生えても当然だったが、その不安を晴らしてくれたのが鳥栖からのオファーだった。「本当に感謝しているし、自分は拾ってもらった身。恩返しできるように全力でプレーしたい」。無所属になったからこそ、あらためて感じたプレーできる喜び。新天地での初日から丸橋はその喜びを噛みしめながら、日々を全力で過ごしている。丸橋と言えば、サイドを駆けあがり、左足のクロスからチャンスを生み出す攻撃的なサイドバックだ。長い年月をかけて磨き上げたその実力に加え、鳥栖ではサイドだけでなく中央の位置に入り、パスから攻撃を組み立てるといった新しい自分を作り上げようとしている。「(新しい取り組みは)楽しいですし、難しい部分も多いですけど、そこがうまく成功できればめちゃくちゃ楽しい」。新しい環境での新しい自分。丸橋はそんな日々を楽しんでいる。

今節は下部組織から約20年という時間を過ごしたC大阪に初めて対戦相手として対峙することになる。これだけのキャリアを誇っていても古巣との対戦は初めての経験。「どんな感情になるんでしょうね」と笑うが「思い入れはもちろんあるけど、特別な感情を入れてしまうと力むことになってしまう。あくまでもリーグ戦の中の1試合」と自然体を強調する。それでも、これまでの自分を築き上げてくれたチーム、そして、これからもプロサッカー選手を続ける機会を与えてくれたチーム同士の一戦。丸橋は誰よりも強く感謝の思いをもってこの一戦に臨む。C大阪でもそうだったように所属するチームの勝利のために全身全霊を捧げる。

木村情報技術
IK

DF 28

丸橋 祐介
Yusuke MARUHASHI

アニマル・ワン presents
Aspire for The Best

「犬の雑穀ごはん」
スペシャルマッチ